

つなぐ



<設立状況(29.12.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 23(25地区)
 まちづくり協議会準備会 3(3地区)

Vol.16



発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

HP：<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>



余土地区まちづくり協議会

～先人の思いを受け継ぎ、地域の方ど
どのように活かすか考えてきた10年間～

創立記念式典&フェスティバル



余土地区まちづくり協議会創立記念式典が11月26日(日)余土公民館で開催されました。式典では、余土地区まちづくり協議会から歴代の会長へ表彰状が送られました。

あいさつで今田会長は「先人である森盲天外・池内清間・鶴本房五郎・森次円月・五十崎修の思いを受け継ぎ、どのように活かすか地域の皆様と考えてきた。今後も地域の皆様と従来にも増して連携を深め、行政と協働をはかりながら余土地区の更なる活性化に向け、取り組みたい。」と、これまでの活動を振り返りながら、今後の抱負を述べられました。

式典後にはフェスティバルが開催され、多くの人で賑わいました。イベントの企画をNPO法人えひめ人材ブリッジと協働することで、新たなアイデアが加えられ、ステージイベントやブースなど大人から子どもまで楽しめるイベントとなりました。

これまでの取り組み2選

◎活性化ポスター

余土地区に関わりがある人を対象に、余土地区の活性化を推進するポスターを募集しています。

受賞した作品は、クリアファイルにデザインされるなど、啓発活動に用いられています。

◎余土中学校移転

地元の要望を集約し、余土中学校の移転に関する要望書を松山市に提出しました。これにより、中学校が余土東4丁目から保免西4丁目に移転され、中学校跡地は公民館や保育園など様々な分野の地域拠点として活用されています。



特集

学生 × まちづくり

地域と学生の関わり

各まちづくり協議会では、若者の地域活動への参画が課題となっています。現在、まちづくり協議会で活躍する清水地区まちづくり協議会や桑原地区まちづくり協議会の学生もどのように地域へ関わっていくかなどの課題があります。

そこで、両まちづくり協議会の学生同士が互いの活動の情報交換や意見交換を通じて、日ごろの活動に活かせるよう交流会を開催しました。



ファシリテーターとして、松山市コミュニティ・アドバイザーである前田眞先生をお迎えしました。
まず初めに、初対面の学生もいたので、緊張をほぐすために自己紹介をしました。
今まで参加した活動のほかに、自分の趣味や好きなものを話す人もおり、時折笑いも起きました。



次に、各地区のこれまでの主な活動報告をし、自分の地域でやってみたい活動について話し合いました。
清水地区は主に地域行事に携わっており、今年はどういう施設鬼での出店や地方祭で子供神輿の手伝いをしました。
桑原地区は、大学のサークルになっているため、大学周辺マップの作成、学園祭での出店などを行っています。



最後は、それぞれのグループで出た意見を発表しました。前田先生から、「活動に興味をもってもらうために行動するというのを忘れてはいけない」、また、「他人から支援など受ける『受援力』を養うことで活動の達成感につながる」と、アドバイスをいただきました。交流会は終了しました。
今後も松山市はまちづくりに携わる学生たちへの支援を続けていきます。



グループワークでは、「まちづくりに学生の参加を増やす方法」について話し合いました。
・ 大学内の勧誘に力を入れる
・ 学園祭でブースを出展する
・ 映像サークルなどと協力してPR動画を作成し、校内放送する
・ 依頼する仕事を細分化し、人材を集めやすくする
・ まち協と行政のつながりを活かし、広報テレビに出演 etc.
学生ならではの意見がたくさん出ていました。

◆清水地区「学生活動局」

主に、地方祭や地域のイベントの手伝いをしています。昨年は流しそうめんを行い、地域の方と交流を深めました。事前準備は桑原地区まちづくり協議会の学生部とも協力して実施しました。

今年行われたどじょう施餓鬼では、輪投げコーナーなどのブースを出し、地域の子どもたちと交流を深めました。これら以外にも、普段交流することの少ない学生と地域を結びつけるような活動も行っています。



◆桑原地区「学生部」

学生部は大学のサークルになっています。そのため、新入生向けに、大学周辺の飲食店や施設などの情報が掲載されたマップの作成や、学園祭でブース出展をしています。また、東雲女子短期大学と協力して異文化交流会を実施したり、小学生の夏休みの自由研究サポーターをしたりするなど、他大学や子どもと交流する活動もしています。

その他にも、地域の方からの依頼を受け、地域と学生をつなげる活動も行っています。



先進地区事例

◎小学生からのまちづくり

堀江地区まちづくりコミュニティ会議は、子どもたちのアイデアを生かしたまちづくりを進めようと、平成25年に小・中学生を募集し「ほりえゆめくらぶ」を結成。清掃活動や「ほりえ港青空市」でのフリーマーケットなどで主体的に活動するほか、「まつやまこどもの日」に毎年開催される「ほりえ子ども会議」にも出席し、子どもならではの自由な意見を提案しています。結成当時中学生だったメンバーは、大学生になった今も一員として活動中。

「子どももまちづくりのパートナー」と位置づけ、大人と一緒にまちづくりに関わってもらうことで、子どもたちの郷土愛が育まれ、将来のまちづくりの担い手として期待されています。

▼ほりえゆめくらぶ



◎金沢 学生のまちづくり

「金沢 学生のまち」をコンセプトに、金沢市では学生によるまちづくりが行われています。その一つとして、古民家を改装して作られた「金沢学生のまち市民交流館」があります。まちづくり講演会や社会体験講座などのイベントが開かれ、学生と市民との交流を促し、学生とまちの関係を深めながら自主的なまちづくり活動を支援することで、市政の推進を図っています。

交流館に入ると、玄関にマッチングボードが設置されており、地域活動での人材募集や地区内イベントを把握することができます。コーディネートを通じて参加手続きができます。学生も地域活動に参加しやすい環境が作られています。

▼マッチングボードのイメージ



立岩地区まちづくり協議会準備会が設立されました！！

立岩で暮らし働き学ぶひとりひとりが、1日1日を笑顔で過ごせる地域にしたいです。



立岩地区まちづくり協議会準備会
会長 池谷 満さん

10月23日(月)に立岩地区まちづくり協議会準備会の設立総会が開催されました。松山市では26番目の準備会設立になります。

立岩地区は、豊かな自然に囲まれ、ツジ祭りや高縄山麓市場などで賑わいを創出し、伝統文化の伊予万歳を子どもに教えるなど行事が盛んな地区です。少子高齢化などの地域課題もありますが、住民が笑顔で暮らせるまちを目指します。



人口 781人
世帯数 346世帯
※H29.11.1 現在

かやまちクラブ

新鮮野菜・果物でミックスジュースを作ろう！



11月18日(土)に味酒地区まちづくり協議会と松山アーバンデザインスクールが主催し、萱町商店街でオリジナルミックスジュースを作るイベントが開催されました。このイベントは、商店街を身近に感じ、魅力を発見してもらうために企画されました。

参加者は班に分かれて、商店街内の八百屋さんに新鮮な野菜や果物の見分け方や豆知識を教してもらいながら、それぞれの好きな野菜や果物を楽しく選んでいました。選び終わった後は、野菜や果物の皮むきに苦戦しながらも、一生懸命ミックスジュースを作りました。完成したジュースを審査員に飲んでもらい、使った材料やお店で得た知識を発表していました。

今後もこのようなイベントを「かやまちクラブ」として、様々なスタイルで続け、商店街の活性化につながるよう期待しています。

どんな味になるかな♪
家でもジュースを作りたくなりました

第15回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します



余土地区まちづくり協議会
事務員 森松 和世さん

◎経歴・趣味

主人と共通の趣味は旅行です。今年もたくさん旅行が出来ました！来年は娘の住んでいる北海道に行きたいです◎

今回の表紙で紹介した余土地区まちづくり協議会の事務員として活躍されている森松和世さんを紹介いたします。

【余土地区はどのようなところですか?】

松山の南西部に位置し、市坪・保免・余戸の3地区からできています。ベッドタウンになっており、分らない方でも、「坊っちゃんスタジアム」があるところと言えば、大体の方が分かってくれます。

森盲天外をはじめ多くの偉人を輩出し、史跡や句碑も多く、憩いと安らぎの地域です。ぜひ散策にお越しください。

【どのような活動に取り組みられていますか?】

環境整備委員会では、緑のカーテン運動や花いっぱい運動などを実施しています。教育文化委員会は、地域の偉人などを学ぶ歴史講演会、保健福祉安全委員会では防災研修会を開催しています。広報公聴委員会は毎月「まちづくり通信」を発行し、ホームページも管理しています。総務企画委員会では活性化ボスターの募集や年賀交歓会など開催しています。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】

一番は地域の方々の名前を多く知ることができたことです。外出先で気軽に声をかけていただく、地域の一員になれたようで嬉しいです。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

地域で様々な団体が活動しています。まち協が多くの団体と連携し、団体同士をつなぎ、調整することで各団体の活動が広がればと思っています。これからも委員の皆様と協力して頑張ります。